

2022.2.10

支 部 通 信

No 81



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社 長野電気引込工事センター

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中部電力PG(株) 長野営業所所長	宮澤 征爾	----- 3
3	フ リ ー ト ー ク	副 支 部 長	伊東 敬晃	----- 4
		副 支 部 長	久保田貴律	----- 5
		中野・飯山地区	山浦 亮人	----- 6
		長 野 西 地 区	長田 清二	----- 7
		長 野 東 地 区	町田 幸司	----- 8
		須 高 地 区	海沼 尚男	----- 9
		更 埴 地 区	蟹澤 佳治	----- 10
		長 野 東 地 区	北村 芳郎	----- 11
		更 埴 地 区	滝澤 勝彦	----- 12
		中野・飯山地区	宮崎 至	----- 14
		須 高 地 区	湯本 栄二	----- 16
		長 野 西 地 区	有岡 幹雄	----- 17
4	電 気 会 館 ス タ ッ プ 紹 介			----- 18
5	編 集 後 記	総務副委員長	蟹澤 佳治	----- 19

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「志賀高原丸池のほとり」

太陽の 高さを恋ひて 冬の晴れ

12月下旬。これから本格的な冬を迎える志賀高原丸池の写真です。
風もなく、雲の切れ間からそそぐ柔らかな陽の光に、穏やかな時間の
流れを感じます。

写真撮影：湯本 栄二 様

「虎に翼を付けて放て！」

～ 踏んだり、蹴ったりの雪かき合戦 ～

支部長 大田 敬 壹



寒気団に押し出されて、とうとう冬将軍がやって来た。昼から降り出した雪は、次の日の朝まで降り続き大雪となった。家々の屋根や庭木は綿帽子を被り、まるで奥深い雪国の風情になってしまった。

そして、「未明の寅の刻！」 「ガリ！ガリ！ガリガリ！」と音が聞こえ、それを合図に雪かき合戦の火蓋が切られた。「ガリガリ！ガリガリ！」という音があちこちからも聞こえ、正月からの雪が残る中、かいても、かいても、そばから積もる雪と街路灯の明かりの中に降り続く雪を、ほぼ諦め顔で黙々と雪かきをするのだった。

そして「早い者勝ち」とばかりに、近くの空き地の隅に雪を押しやれば、後になって、そこは人の通り道だと怒られ、（最近、御近所様はお年寄りが多くなったこともあるのだが）我が家とは無縁な「御近所様」同士のつば迫り合いに巻き込まれ、塀の上の雪を全部こっちに落としたりとか、日陰に溜まった雪を、雪が解けるようにと陽ざしの当たる場所に押しやれば、「お宅の前ばかり綺麗にして」と皮肉顔で見られる始末。まるで「さるかに合戦」ならぬ「雪かき合戦」の様相となってしまった。長年、人のために良かれと思ってやってきたことだったのに、「踏んだり蹴ったり」とはこういうことを言うのだろうか。「雪かき」ばかりが疲れる訳じゃない。やり場のない「雪」とやり場のない「疲れ」だけが、肩にずっしり押し掛かってきた。この先の天気予報でも、まだまだ雪マークが一杯。敵が繰り出した2度目の大雪も襲ってきた。こんな「雪かき合戦」、いつまで続くのだろうか。春さえくれば形勢は一気に逆転するのだが。

改めて新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。また、会員の皆様からは、新增設等の引込工事の依頼、中部電力様からは引込線点検改修工事等のご発注を頂き、改めて感謝を申し上げます。



昨年、晩秋を迎えた頃、新型コロナの感染がかなり減少傾向にあったこともあり「そろそろいいんじゃない？2年間も我慢したんだから」という声に押されて、支部・センターの新年会を計画したが、年末になって新型コロナ「オミクロン株」の急速な感染拡大が世界中で起こり、それが正月明けの日本でも一気に広まってしまった。早々に新年会の中止の基準だった感染警報「レベル3」を越え、「まん延防止の適用」が

目の前に迫ってきた。今年こそはという思いをよそに、当支部センターの新年会を含め、数多くの新年会が中止に追い込まれた。新型コロナウイルスの感染は収束どころか、未だに市中を彷徨っている。感染症の収束には4～5年かかるという歴史の事実が現実味を帯びてきた。

そして昨年も多く行事・活動が、コロナ禍によって変更を余儀なくされ、大変な一年だったが、そんな中で明るい話題もあり、電気使用安全月間では、各地区の役員さんのご配慮、ご苦勞にもより、その活動が報道等に取り上げて頂き、今年も大きな成果を収めることができたことに感謝を申し上げます。

また昨年、長野電気引込工事センターにおいて重大な災害と事故は無かったのですが、お客様や中部電力パワーグリッド様にご心配をお掛けするような注意すべき事象が見受けられました。今年は是非、「無断工事」を始め、不慮の事故、災害は無くしましょう。不慮の事故、災害は誰もが被害者になります。現場等で緊急の要請や不測の事態が発生したときは、【とにかく中部電力さん・引込センターに電話で相談して下さい!!】。工業組合の第三者損害賠償の事故でも同様に「結線等を間違えた」という単純な同種の事故が、毎年のように発生しています。確実な後確認を必ず実行しましょう。

「中途半端な余白が残ったので、いつもの余談！」

皆さんは「天の川」を見たことがありますか。私は子供の頃、「天の川」を初めて見た時のこと、その美しさに感激したことをよく覚えています。「天の川」は、遙か、北はカシオペア座から南は南十字座の範囲に達しています。今では殆ど肉眼で見ることができなくなりましたが、「太陽系」が含まれている「銀河系」を、地球上から見ると「天の川」となって見えているのです。そのため「銀河系」のことを「天の川銀河」とも呼びます。宇宙は広大で謎も多く、21世紀初頭の新発見によっても、どんどん説が変わっています。そして遙か彼方の約230万光年離れたところにある「アンドロメダ銀河」は、秒速約122 kmの速度で我々の「天の川銀河」に接近しており、約40億年後には「天の川銀河」と衝突することが示唆されています。その頃には我々人類が存在しているかどうか分かりませんが、遙か彼方の話です。(ウィキペディア参考)



は我々人類が存在しているかどうか分かりませんが、遙か彼方の話です。(ウィキペディア参考)

もし、その夜空の星々に願いが込められるとしたのなら、「新型コロナ・オミクロン株」の第6波に襲われている世界中が、一日も早く元気を取り戻せるように、そして今のコロナウィルスとの合戦に勝てるように、今年の干支の「五黄の寅年」にちなんで、

「勢いよく、そして強く、さらに真直ぐに高く、飛び立つ！」
 そんな年になるように「虎に翼をつけて放て！」(日本書紀の「壬申の乱」物語から)

今年もよろしく願い申し上げます。





ご挨拶

中部電力パワーグリッド株式会社

長野営業所長 宮澤 征爾

明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、弊社事業に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東京2020オリンピックが開催され、ワクチン接種の浸透により感染状況も落ち着きをみせるなど明るい兆しがみえた年でもありました。一方で今年に入り、新型コロナウイルスの感染状況は、新たなオミクロン株の出現により未だに予断を許さない状況が続いております。私が着任した2020年4月以降、コロナ禍に翻弄され、会員の皆さまとの交流もなかなか思うように叶いませんが、長年にわたり地域事業に貢献されるとともに、安全を最優先に弊社の新增設の引込・計器工事等にご尽力いただき、災害時の弊社との応援体制にもお力添えをいただいている長野電気引込工事センターさまには、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、2020年4月の分社化以降も弊社を取り巻く環境は、脱炭素化に向けた政策の加速やDXの進展、新型コロナウイルスの感染拡大等による社会構造・生活様式の大きな変化により、劇的に変化しております。これらの変化を新たなビジネスチャンスと捉え、昨年11月には「経営ビジョン2.0」を公表いたしました。これまで以上に品質の高い電気を安価で安定的にお届けすることはもちろんのこと、まちづくりへの参画や地域密着型サービスを通じて「新たなコミュニティの形」の提供にも取り組んでまいります。地域の変化を一番身近に感じておられる会員の皆さまにも、忌憚のないご意見をお聴かせいただきながら、地域とともに歩んできた営業所として、より一層、お客さまの期待されるニーズに寄り添い、日々の安心・安全をお届けできるよう所員一丸となってこれからも努めてまいります。

まもなく、北京オリンピックが開催されます。応援をいただいている中部電力カーリング部は惜しくも出場を逃しましたが、昨年12月に開催された「2022世界カーリング選手権日本代表選考会」においては見事優勝し、3月にカナダで開催される「2022世界カーリング選手権」に日本代表として出場します。皆さまにお世話になっている低圧契約部署から中嶋星奈選手も出場いたします。今後の大会も良い成績が収められるよう鍛錬してまいりますので、引き続き温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、本年も会員の皆さまを始め、ご家族の皆さま、従業員の皆さまが無事故・無災害でご安全に過ごすことができますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

♡ All Free Talk



オール・フリートーク 特別号 「地区だより」はお休みします

年頭雑感

副支部長 伊東 敬晃

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

支部通信第81号発行にあたり、原稿の催促が来たところでやっと重い筆をとりました。今日は1月20日(木)です。本来ですと「長野支部新年会」が行われていたはずですが、新型コロナウイルスのオミクロン株が年始から猛威をふるい中止になったため、空いた時間で原稿執筆をすることにいたしました。

コロナ禍も3年目を向かえることとなりました。日本の1例目が報告されたのは2020年1月16日で中国武漢市からの帰国者でした。その際の厚生労働省の発表では1月3日発熱、6日帰国・医療機関を受診、10日入院、15日退院とあり、国民へのメッセージとして『現時点では本疾患は、家族間などの限定的なヒトからヒトへの感染の可能性が否定できない事例が報告されているものの、持続的なヒトからヒトへの感染の明らかな証拠はありません。風邪やインフルエンザが多い時期であることを踏まえて、咳エチケットや手洗い等、通常の感染対策を行うことが重要です。』とあります。長野県の1例目の報告は2020年2月25日で東京都内の滞在歴がありました。長野市を見てみると1例目の報告は2020年4月1日でイギリスからの帰国者でした。2

年たった今でも『持続的にヒトからヒトへの感染』があり、同じことの繰り返しであまり進歩がないように感じます。ワクチン接種が進み感染者数が減った時期が続き、一時楽観ムードもありましたが、オミクロン株の出現で新年会が中止になり、2月10日開催予定だった県工業組合主管の「製・販・工 懇談会」も中止になり、ヒトとヒトとの距離がまた遠くなってしまいそうです。とはいえ、止まってはいられません。やるべきことはやらなくてはなりません。ポジティブに前を向いて進みたいものです。

今日は1月20日。二十四節気の「大寒」で、一年で最も寒さの厳しい時季とされます。また、二十四節気をさらに三つずつに分けた「七十二候」では1月20日から24日頃を「款冬華」（ふきのはなさく）というそうで、雪の積もる大地に款（ふき）の花が咲き始める時期だそうです。次の節気は2月4日の「立春」です。今年は雪が多く、寒さも厳しいですが、冬はやがて春になります。暖かな春が待ち遠しいです。

結びに、本年も支部会員・センター会員の皆様のご繁栄・ご安全の一助となるように役員一同努めて参る所存です。引き続きご指導とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご繁栄を祈念し、甚だとりとめのない文章となりましたが、新年の挨拶とさせていただきます。



たい ぜん じ じゃく

泰然自若 の 構えで…

副支部長 久保田 貴律

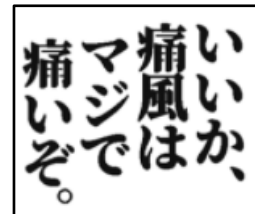
新しい年を迎え、去年一年間を振り返ると我慢の続く年でした。支部通信の寄稿の依頼を受け、正月中の事か新年会の事でも書けばと簡単に考えていたところ、またもや自粛、がまんを強いられる状況となってしまう、原稿の締切日が近付いて来ても特に書くこと思いつかないので、今年目標というか、心構えのような事を書こうと思います。

何故かというと、今年は元旦にかけて雪も降っていたため二年参りもあきらめ、時間をずらし初詣には近くの神社に歩いて行って来ました。そこで普段はあまり引かないおみくじで今年の運勢の様子見をしてみました。結果「大吉」と出ました。ですがそこに書かれていた内容が、「泰然自若の構えで幸運を手にと書かれ、内容は「何事にも動じず落ち着いた様子で対処する。焦ると好機が逃げる」の様な事で、何だか自分の性格の欠けているところを指摘された様



な気がしました。確かにここ数年コロナ禍の影響で、物事が予定通りにいかなかったり、仕事にも影響が出たりと焦ったり、イライラしたりと余裕を持って対処することが出来なかった事が多々あったと去年の反省させられた気分になりました。大吉引いたのに！

まだまだ今年もコロナ禍での生活は、少しの間続いていく様に思えます。そんな中としては「泰然自若」の心構えで多少のトラブルにも動じず、冷静に対処出来るよう心がけていきたいとおもいます。あと、金運「無駄な出費を控えて」買い物運「財布の紐を締めて」と完全に神様には見透かされているようなので無駄使いに注意した一年にしようと思います。



痛風

になってわかった事

中野・飯山地区 山浦 亮人 (中野電機工業株式会社)

昨年の2月に痛風になりました。その日の昼間、何となく足が痛い。気のせいかなと思っていたのですが、夜になるとだんだんと痛くなりあまりの痛さにその日の夜は一睡もできませんでした。

10年前にも痛風になったことがあり、その時は初めての痛風だったので、あまりの激痛に足の指の骨が折れたのではないかと思い整骨院に行きました。医者から痛風で、尿酸値が高いので改善するように言われました。

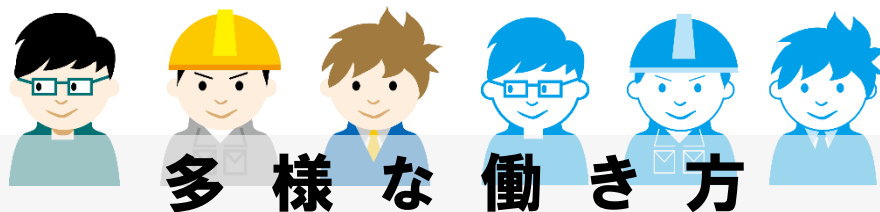
- ・食生活を見直す(プリン体を控える)
- ・アルコールをひかえる
- ・運動をする

と言われたので、食生活を改善し体重も75kgから65kgまで落とし、ビールも週末以外は基本飲みません

でした。しかし時がたつにつれ、痛風で痛かった事も忘れ、だらしくなり体重も70kgまで増えビールも毎日飲むようになり、痛風の事なんか忘れていました。そうした時に10年ぶりに痛風になりました。

そしてまた尿酸値を改善しようとビールも金・土しか飲まないようにし、アルコールを控えています。しかし2度目の痛風から1年も経つと足が痛かった事も忘れ、たまに木曜日にもビールを飲んでしまう事があります。それに金・土しかビールが飲めないの、飲める日は必要以上に飲んでしまいます。

この調子でいくと、恐らく数年後また痛風になると思います。それが今回痛風になってわかった事です。



長野西地区 長田 清二（長田電気商会）

ここ最近、食堂という昔ながらの個人店、日替わり定食やラーメンなどメニューが豊富な小さなお店が残念ながら減っています。その反面、善光寺周辺の裏路地や住宅街の一角に、古民家をリノベーションしたカフェや食堂、洋菓子、パン屋、雑貨店などが年々増え、目に留まります。新築した店舗ではなく古い建物を生かしつつ極力シンプルかつおしゃれなお店が多く、概ね若い方や若い夫婦でお店を切り盛りしているみたいです。

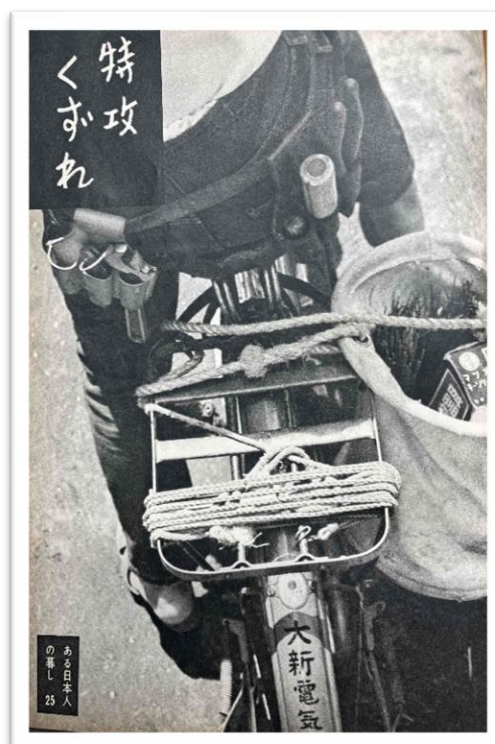
目立たない看板や一見何の店かわからない構えですが、興味があって、ふらっと立ち寄ります。カフェ店内は静かで、読書していたりスマホをいじっていたり一人の時間を満喫している方が多く、のんびりとした時間を過ごせる場所です。木製の窓枠はそのままに、アナログ盤の音響機器、ギシギシと軋む無垢の床。昭和の時代が再現されていてなつかしい感じがします。

お店の営業スタイルも、週一の定休日や年中無休とかではなく、不定休、週末のみ、お昼時のみ、冬期間は休店など様々なスタイルで営んでおります。従来ですと昼夜営業の週一定休が一般的な感じがしていましたが、今は独自のスタイルでお店をやられる方が多いようです。他に副業を持っていたり、本業がデザイナーや農業の方もいると聞きました。

私達、電気工事業は建築工程に左右されがちで、年々効率化と工期短縮を求められ、なかなか自分だけで自由にペース配分して働く事は難しいですが、少しこういったお店を参考にしながら、個々に多様な働き方があってよいのかなとも思います。

写真は昭和30年代 腰道具をつけて自転車で現場へ向かう所なのでしょか？

この写真が載っている雑誌『暮らしの手帖 昭和34年』は、古民家カフェ兼古書を扱う店で買った掘り出し物です。一度行ってみると、日常とは違う雰囲気です。



麺の架け橋 Part2 つけ麺特集



長野東地区 町田 幸司（大栄電気設備株式会社）

新年明けましておめでとうございます。令和4年のスタートになります。昨年はコロナ禍で混乱の中、会員の皆様には大変お世話になりました。特に地区組織・事業分担の変更についてもご理解とご協力頂き感謝しています。試行期間も順調に進んでいるので来年からは本格移行しますので一層のご協力宜しくお願い致します。コロナの影響で会員様の事業運営も大変だと思いますが、無事故・無災害で一年を過ごしていただければ幸いです。

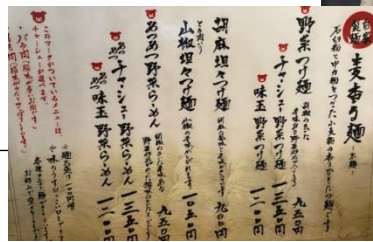
新年号の地区だよりもフリートークとなります。長野県電気工事業工業組合発行の「電工組だより 173号」に掲載した記事の続きで、支部通信にも趣味のラーメン特集を記載させていただきます。今回はつけ麺特集になります。

つけ麺 《わいち》

長野市新田町しまんりょ通り

2013年に長野市南石堂に登場してから閉店・移転を繰り返し2021年8月に現在の場所に再オープンしました。ラーメンの神様 山岸一雄氏の弟子でこだわりがすごい店主となります。当然つけ麺がおススメですが以前より私のイチオシはあつあつ野菜ラーメンです。

酢と一味の絶妙な味付けがやみつきになります。超有名店の東京東池袋【大勝軒】の進化系とも感じます。写真はあつあつ野菜ラーメンですが先ずはつけ麺をご堪能ください。女性客も大変多いお店です。



つけ麺 《丸長》

中野市（本店）・北須坂（分店）

長野北信では有名店のつけ麺屋となります。こちらも神様山岸氏と関係があります。



私が東京から戻ってきて早27年になりますが通い続けているお店になります。もちろんつけ麺がメインですから、ラーメンもありますが皆さん9割9分つけ麺を注文します。トッピングも多いので好みで選択して召し上がってください。写真はメンマつけ麺大盛 チューチュー付です。子供からお年寄りまで客層が广いです。

今回紹介したお店はやはり麺にこだわりがあります。一般的なお店はつけ汁に特徴がありドロドロ・鯉節系が多いですが本店は醤油系でさっぱりしていますが主役は麺です。おススメの二店舗皆さん必ず行ってください。



巢 すごもり 籠

須高地区 海沼尚男（海沼電業）

コロナとかいう流行り病が蔓延するずっと前から私は巣籠っています。出来れば人と会いたくない、電話も嫌、他人とは関わりたくない、そっとして欲しい、貝になりたいと願う私にとってコロナは大変重宝なものでした。余計な会合や無駄な飲み会など全て排除されて、いっそアルコール類、酒なんて無くなってまえ…なんてね。

巣籠を始めて6年、私はその前から長いこと洋楽、邦楽問わず音楽評論をして、最近ではYouTubeリスナーをしてきましたが、ここ3年はテレビにハマっています。それというのもテレビ業界が第5のマスメディアNETに対抗べく立ち上げた動画配信サービスにどっぷりと首まで浸かっているからで、キッカケはテレ東の深夜ドラマだったのかな。（元テレ東敏腕プロデューサー佐久間宣行氏に引き込まれたのだ）

基本は空いた時間に好きなドラマ、アニメを視聴すればよいのだけれど、配信にも時間的制限があって、MBS、関テレ、テレビ大阪、等諸々全てチェックすることは大変難しい。例えば音楽であれば一曲5秒聞けばよし悪しは解るがドラマはそうはいかない。新シーズンの始まる時期に必ず第一話目を視て、面白いのか、見る価値はあるのか、駄作なのかを判断しなければならず、それを見極めるのに最低10分はかかってしまいます。そんな時が3ヶ月1クールで年に4回ございます。忙しいです。そんな時間的制限下でクイズ番組はリアルタイムでこなしていかなければならない。配信又は録画だと“もう少し考えてさせてくれ”という己への甘さでつい、一時停止ボタンに手をかけてしまい、緊迫感あつてのクイズ番組が台無しになってしまうからで、どうしてもリアルタイムで参加しなければいけません。

昨年末“正月は宿題を一気見するぞ”と思っていたのですが、義理の父が27日朝に他界して年末は葬式の段取りで、その他諸々で正月も。小康状態だって医者が言うから年賀状も投函してしまったのにタイミングが悪すぎでしょ。でも現状、死ぬ日を決められないのでしょうがないですね。不幸なことですが社会に世界に地球にとって。

少子高齢化（ゾンビ化）問題は深刻。細菌兵器の失敗作か神の御心か知りませんが、世界が望んでいた老人問題解決には何ら効果を得られないまま、オミクロンなんて伝染はしやすいが効果は薄いという細菌の末路のセオリー通りで誠につまらない展

開。どこその賢人が画期的なストーリーを書き下ろすまで「どうせ人生は暇つぶし」という諦めムードな現代風潮に埋没して身を潜めて余生を過ごすのか。今日は1/15日なのだが、今ごろは北京オリンピックでいくつの感動は生まれたのか、なんて。

ドラマ“猫”“コタローは一人暮らし”“ムショぼけ”“みんな名作だった。もう少しこの現代社会か、メタバースの入口か、わからんカオスを楽しむとするか。

復活



中年ライダー

更埴地区 蟹澤 佳治
(賛宝電気株式会社)



新年あけましておめでとうございます本年も宜しくお願い致します。

去年の春先、10年ぶりくらいにバイクに乗ろうと思い、長野市内のバイク屋さんをみってみた。新型コロナウイルスの影響でバイクブームになっているらしく中古車が新車なみの値段になっていたが、250ccのバイクをオークションで探して落札しました。

エンジンは問題なくかかりひと安心。バイク屋さんで整備をお願いしている間に外装の塗装替えをして乗り出すまでの作業は終わり、ナンバー取得しました。白黒になってしまうのでわかりづらいと思いますが、結構変わってるんですよ。

バイクにまたがりエンジンをかけ、エンジン音と振動が体に伝わりたまらず出発。大丈夫です。もちろんヘルメットはかぶってます。夏は風を切って走っているときは本当に気持ち良くていいのですが、信号待ちや渋滞にはまると暑くて大変です。

11月後半くらいまで時間があればのんびりソロツーリングを楽しみました。最近、近所迷惑ですが2週間に1回くらいはエンジンをかけてピカピカに磨きながら、暖かくなるのを待っています。



現在の非常識と 未来の常識

長野東地区 北村 芳郎（信越電気防災株式会社）

今後の日本企業に必要なことは、まず、企業精神について、高度経済成長前、すなわち昭和30年代初頭への回帰です。いかに時代が変わろうとも、商売の鉄則は常に「客の客のことを考える」こと「自分が客だったらどうかを考える」こと、そして「相手の立場がわからない者は主にも客にもなれない。」であると私は考えています。実際、当時はこれが徹底していました。このスピリッツがその後の高度経済成長の原動力になったことは言うまでもないことでしょう。

しかし、精神論だけでは駄目で、実態が必要です。では具体的にどうするか。これはもっと以前、つまり昭和初期のものをアレンジする必要があると私は考え、実践しています。なぜそう考えるのかというと、少子高齢化社会となり、購買層が減り、90年前と同じような市場となっている今、何事も実践することにより価値があるからです。具体的な実践内容に違いはあっても、これからの日本はいやでもこうしていかないと生き残ることはできないと私は考えています。

5G時代の生命線、電源。今現在、未曾有の災禍によって、10年くらい一気に時代が進み、今まで以上に需要が高まってきました。短期的には企業経営に大きなダメージを与えてはいるものの、中期的に見ると、これまでにない新しいマーケットの拡大、販売チャネルの拡大という要素も持っているのです。そのために弊社では生き残りをかけて、「遠隔でブレーカ状況を監視及び開閉動作させるリモートコントロールブレーカ」

の通信部分までを含めたシステム開発を行っております。これは現在の非常識かもしれませんが、技術者不足でも維持管理していかなければならない未来では、必ず常識になると確信しております。

これから20年で2000万人規模の日本人がいなくなます。そして、指をくわえてそれを見ていれば、日本社会も沈没していきます。働き手が不足し、高齢者が孤立する人口ピラミッド崩壊社会が出現するのです。それに歯止めをかける有効な手段を強いて言うならば、



1. 外国人労働者を増やすこと
2. 農村部から先にデジタル未来都市化を進めること

この2点が最重要です。

「素直な変わり者」が集まり、スペシャリスト集団とならなければなりません。これは本質的には弱小国である日本の唯一の選択肢であり、先人はこうして今の日本を作ってきたわけですから、今まで以上に歴史に触れてほしい。というのが本音のところでは。



我が町の 更級横田神社

更埴地区
滝澤 勝彦
(滝澤電気株式会社)

地区最後の役職として氏神様の氏子総代になりましたので、篠ノ井 東・西横田の神社と更級横田神社の紹介をします。

- 《例大祭》
- 年頭祭 一月元旦
 - 春祭り 四月
 - 秋祭り 十月
 - 新嘗祭・大祓祭 十一月
 - 虫送り 八月
 - 富士宮祭り 五月
 - 金毘羅祭り 十月

- 《祭神》
- 三社を祀る(合祀によるもの)
- 天照大御神(あまてらすおおみかみ) 伊勢社
 - 建御名方神(たてみなかたのかみ) 諏訪社
 - 大山咋命神(おおやまくいのかみ) 日吉社
 - 火結神(ひむすびのかみ) 秋葉社(境内)

- 明治四二年(一九〇九年)日吉社が一行政村一社の政策により、伊勢社に合祀される。
- 昭和二七年(一九五二年)社殿屋根葺き替えに伴う、御遷宮の際、更級横田神社と改称する。
- 平成三一年(二〇一九年)老朽化により大鳥居の建て替えをする。





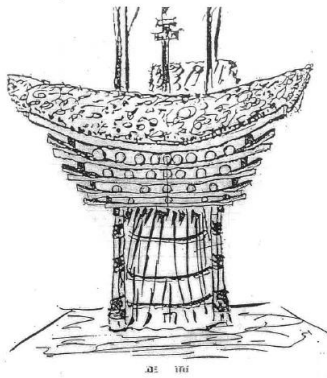
氏子総代6名は、毎月1日に定例参拝後、社殿・境内を掃除し御守りしております。

《鎮座地》

○長野市篠ノ井横田三〇三

《由緒・歴史》

- 建立年代は不詳、御厨神明宮と称されていた。
- 治承五年(一一八一年)木曾義仲軍と、越後の城氏を中心とする平氏軍による、横田河原の合戦で神明宮は焼失し、その後再建される。
- 応仁元年(一四六七年)神木槻(ケヤキの古称)の老木が大風で倒れ、樹中から神官の形をした一尺四寸の木神が現れ、本殿に祀る。
- 弘治三年(一五五七年)川中島の合戦で神明宮焼失。
- 寛文元年(一六六一年)本殿を再建し拜殿を造営する。その後本殿が大破し寛延三年(一七五〇年)建て替える。
- 文政三年(一八二二年)吉田家(徳川幕府から全国の神職の支配を任された)より、神明宮の社号を許可される。又、創立は不詳であるが伊勢社と並び、大字横田字堀畷に鎮座していた諏訪社も吉田家より更級横多神社の社号を許可された。その後、神明宮へ合祀し大鳥居建立する。鳥居の額には神明宮と更級横多神社が並列して記されている。通称、伊勢社と呼ばれていた。



野沢温泉

中野・飯山地区

宮崎 至 (有限会社 ながや電気)

昨年コロナ禍により中止となった 野沢温泉道祖神祭りが入場者数の制限を設けて2年ぶりに催行されました。私自身も約20年前に道祖神副委員長として参加しました。村人の火付けを25歳厄年が守る勇壮な祭りとして紹介されていますが、今回は舞台となる社殿の材料、建立の様子を中心にご紹介します。

毎年1月15日夜、火祭りはおこなわれます。松明による攻防のあと、手締めにより社殿に火が入り、奉納される初灯籠と共に約1時間ほど激しく燃えて焼け落ちます。社殿の材料は前年10月に3日間ほどかけて、元口30~40センチ、全長18m超の主にブナの木を十数本程度、国有林、地縁団体の所有地から切り出し、その中から御神木として社殿の柱となる木を5本選び、残りを桁、タル木など6尺から22尺までの丸太にして、道祖神場近くの駐車場で丸太をさらに2つ割、4つ割へとカットしていきます。材料としてはこの他にボヤ200束、杉の葉を丸めた燃え草100束などを用意します。作業は三夜講と呼ばれる厄年42歳を中心とした3学年総勢60名程度で行います。仕事を分担し、木の伐採や刻みには森林組合の職人さんも参加します。刻み終えた材料は道祖神場の脇に置かれ道祖神祭りを待つこととなります。

1月13日から道祖神祭りは始まります。御神木のうち2本を二手にわかれスキ



道祖神祭り

一場から道祖神場まで村内を里曳きします、夏祭りの神輿が練り歩くのに似ています。この日は御神酒をたくさんいただいて14日は社殿を建てます。14日は早朝から年によっては50cmほどの新雪を除雪するところから始まります、降り続けば材料が消えたり工具類が雪に埋まることもあります。

社殿の基礎となる5本の御神木は中央に1本、それを囲むように6尺間隔で4本を人力で建てます。圧雪1mほどに予め穴を掘り先端をとがらせた御神木を「どうぶき歌」にあわせて、持ち上げては落とすを繰り返す、根入れは6尺程度、圧雪の下の畑に数十センチ刺さることになります。全長18m柱は16mほど地上に出た状態で5本が立つと、7尺の桁、角タル木、タル木を釘を使わず荒縄で箱縛りと呼ばれる縛りかたで縛っていきます。5段目22尺が上がると14日の作業を終えますが、自分たちは15日の3時ぐらいまでは作業しました、2時間ぐらい寝た感じでした。15日は朝からボヤを積んで仕上げ作業して昼すぎに完成し夜の道祖神祭りを迎えます。

コロナ禍になる前は、作業するたび、集まるたび慰労会して懇親を深め、祭りを通して絆を深めてきた感じがします。あわせて先輩たちが継承してきた技術や伝統も守ってきました。観客は少なかつたし、祭りを司る儀式も完全な形にはなりませんが、今年後輩たちは苦労して工夫して、立派に道祖神祭りを成し遂げました。マスクもソーシャルディスタンスも気にしない日常に早く戻ってほしいと思います。

めでたく建てた～
命あるなら来年も～♪
ま～た来年も
命あるなら来年も～♪



日本一高い場所にあるクランペットカフェ

須高地区 湯本 栄二（株式会社 信濃電設）



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

今年は雪の降る日が多く、私の一日は雪かきに始まり、雪かきに終わる。そんな毎日を過ごしております。私の家は志賀高原の山の麓にあり、積雪が多くウインタースポーツが盛んな町です。この季節すれ違う車の多くは、志賀高原にウインタースポーツを楽しむために訪れた県外ナンバーの車です。この時期の志賀高原は1年間で最も賑やか



です。

そこで私の一押しですが、横手山スキー場に有る知る人ぞ知る、日本一高い場所にあるクランペットカフェをご紹介します。店内はカジュアルおしゃれ空間で開放感溢れるウッドデッキに出て志賀高原の山々を見下す絶景の中で食べるクランペットは絶品です。地元の方は勿論、ウインタースポーツで訪れた人、この場所だけを目指して来る観光客



も多いカフェ、テレビで紹介された事もあるので、ご存じの方もいらっしゃると思います。オーナーさんこだわりのコーヒーはクランペットとの相性がとても良いとお客様に大好評。この時期は不定休なので、これを読んでい

ただき、日本一高い場所にあるクランペットカフェに興味を持たれた方、雪が融けて志賀・草津ルートが開通に



※クランペット：イギリスの代表的軽食の一つで、小麦粉と酵母で作る塩味または甘い軽食パンのこと

なり山菜が芽を出した頃、是非行って下さい。

山菜と言えば私は根曲がり竹採りに年に4、5回程志賀高原の山に出掛けます。

根曲がり竹と言えば、天ぷら、煮物、鯖缶を入れて作る味噌汁は絶品です。50歳を過ぎ、身体のアチコチが悲鳴を上げ始め、採った竹の子をリュックに詰めて背負うが、その重さは30kg! ひっくり返り山を転げ落ちそうになる。熊と遭遇したら・・・そんな不安を抱えながらもこれがどうして、やめられない。気力、体力が続く限りは行く! と決めています。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、くれぐれもご自愛下さい。



Street View



長野西地区

有岡 幹雄 (株式会社 二葉電気)

仕事のツールとしても良く利用しているグーグルマップ。その中の機能で「ストリートビュー」という機能がある。時々見かける天井にカメラが搭載された自動車によって詳細な画像が記録されていて、現場の環境等を調べるのに現地へ行かなくても良い場合があり便利な時代になったと実感することができる。



そして仕事以外でも、以前自分が住んでいた場所や何年も前に携わった現場など見て懐かしんだりすることもでき、旅行に行きたいと思いはするがコロナの影響などで行けずにいる私には見ているだけで行った気分させてもらえる楽しみがある。国内のみならず海外すらも観覧でき、あたかも自分がその場所を歩いているかのような雰囲気味わえるその画像には感動すら覚えるほどである。

スマートフォン・パソコンをお持ちの方は、一度ストリートビューを試してみたいはいかがでしょうか?

← ストリートビューの撮影車



(岸部 喜代子)

月・水・金は仕事に
集中できるし…

長野電気引込工事センター
TEL 026-234-6658



(安全担当総括部長 日極 量博)

基本、火・木の
勤務です
や、痩せるかも

長野県電設業協会
長野県電設業協会長野支部
長野市電設業協会
(株)電気会館
TEL 026-234-3528

(山本 晴美)



ネコに
なれなかった

New Face
12月に着任しました

(風間 砂弓)



憧れの「組合」♥

長野県電気工事業工業組合
電気組青年部会
TEL 026-232-4675

(事務局長 小林 巨樹)



激やせからの
リバウンド
ふ、太るかも

電気工事業工業組合長野支部
長野西地区・長野東地区
(長野電気引込工事センター)
TEL 026-235-4075

(倉嶋 紀子)



ラストスパナ…
もとい
ラストスパート!

笑顔がふれる
一年がありがとうございます

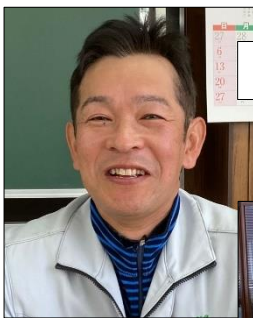


EDITOR'S NOTE

長野支部通信 第81号の編集を終えて



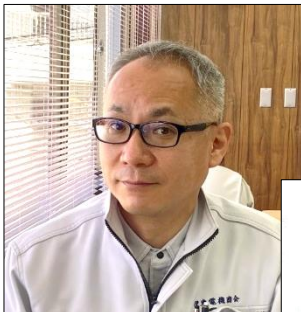
総務委員



委員長 湯本栄二



副委員長 蟹澤佳治



担当副支部長 伊東敬晃



総務委員 久保田雅史



総務委員 永井竹彦

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

年始から新型コロナウイルスの変異株により長野市の警戒レベルが5になり、開催できると思っていた新年会がすべて中止となってしまいました。

ワクチンの接種も3回目なんてことになってきていていつになったら落ち着くのか。新型コロナウイルス発生から2年以上たち感染予防生活にも慣れては来ましたが、逆に慣れ過ぎて怖いですね。2年前のアルコール、マスクの不足していた頃よりも自分自身も手洗い・うがい・消毒の回数が少なくなっている気がします。今一度、マスク着用は当然ですが、手洗い・うがい・消毒の習慣を見直そうと思います。

今回の変異株は無症状もしくは軽症との事で自覚症状が分かりづらいようなので、皆さまにおかれましても感染対策をして頂き、ご自愛のほどお願い致します。

年末年始のお忙しいなか支部通信81号の発行にあたり執筆いただきまことに有難うございます。

総務委員会 副委員長 蟹澤佳治

編集：長野県電気工事業工業組合長野支部事務局 倉嶋

印刷：有限会社 丸山印刷 長野市中御所1丁目26-12-4

大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセル電機

(五十音順)

もっとつながる
もっとおまかせ
すまいの
「できたらいいな」
をかなえる

ながの電材会